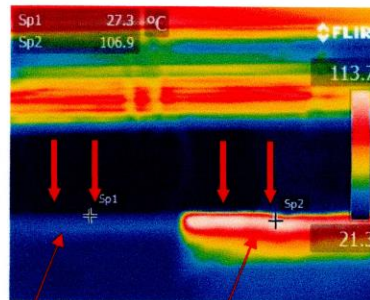
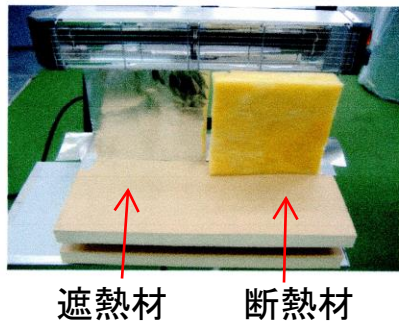


遮熱材と断熱材の特性比較（輻射熱照射テスト）

【1】試験条件

- ① 目的：断熱材と遮熱材の輻射熱照射比較
- ② 試験日：平成24年11月26日
- ③ 室温：23℃
- ④ 使用器材
 - イ) ヒーター：1000W
 - ロ) 断熱材：グラスウールボード 50mm
 - ハ) 遮熱材：THB-M 0.2mm
- ⑤ 測定器具：FLIR

【2】試験概要



遮熱材 27.3℃ 断熱材 106.9℃

- ・ 遮熱材は輻射熱を90%以上反射するため、温度の上昇が殆ど見られません。
- ・ 一般的な断熱材は輻射熱を吸収し、さらに放出するため輻射熱を抑えることは殆どできません。

1. グラスウールはわずかな時間で106.9℃まで昇温し、熱を吸収する素材であることが分かります。
夜間など外気温が下がっても逆に溜め込んだ熱を放出することとなり、室内の温度が下がりにくい状態となります。
2. 遮熱材は輻射熱を反射するため殆ど温度は変わりません。